

「準備して好機つかめ」

トライアスロン・田山選手

波崎柳川高で講演 五輪経験語る

生徒たちを前に講演する田山寛豪選手。神栖市柳川



昨夏のリオデジャネイロ五輪など4大会連続で五輪出場を果たしたトライアスロンの田山寛豪選手(35)は、大洗町出身、流通経済大職員が20日、神栖市柳川の県立波崎柳川高校(阿部浩校長)で講演し、同校体育コースの生徒ら約70人に「夢を持って諦めなければチャンスは来る。そのチャ

ンスをつかむには、日頃から準備することが大事」と語り掛けた。

田山さんは「オリンピック四大会を経験して」と題し講演。自身の現在までを「良かったと思つよりきつ、苦しい、やめたいと思つた時間の方が多い」とし、「壁はその人に乗り越えられる能力があるからこそ与

えられる。乗り越えたら『強い自分』に会えると思つて、その時でいいことを精いっぱいやってきた」と振り返った。

その上で、「目標や夢をしっかりと持ち、諦めさえしなければチャンスは来る」と強調。好機を生かすために準備をしておくことの重要性や、周囲への感謝の気持ちを忘れないことなどの大切さを説いた。日々の練習はもちろん、あいさつや掃除、本を読むことも準備につながるとして、「成功をイメージすることで実際の結果に結び付いた」とした。

講演を聴いた3年の楠大樹さん(18)は「プロ野球選手という夢に向かって、諦めずにしっかりと準備していきたい」と話した。

(関口沙弥加)